

理数科講演会開かれる テーマは「放射線と私たち」



10月19日(金)2学期中間考査終了後、上智大学の元助教授で物理教育国際委員を長く勤められていた 笠 耐(りゅう たえ)先生を東京からお招きして講演会が行われました。テーマは「放射線と私たち」。福島県の原子力発電所の事故以来、事故処理や放射線が降り注いだ地域の除染活動、全国の原子力発電所の停止・再稼働の是非など、放射線と原子力エネルギーの問題は今や日本にとって最も重要な課題の一つとなっています。そもそも放射線とはどのようなもので、どのようにして放出されてくるのか、原子核崩壊とはどのようなことが起こっているのか、化学反応とはどこがどう違うのか、あるいは放射線のメリットとリスクなどについてもお話をいただきました。原子核崩壊については、サイコロを使ってのシュミレーション実験を全員で行いました。原子力と放射線の利用について、進むべき道を考えるよい機会となりました。

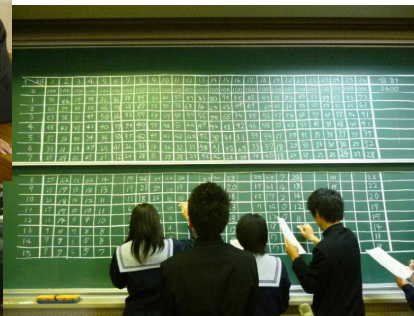


原子核崩壊説明の1コマ

校長先生も
興味津々



シュミレーション実験の様子



各班の実験結果を書き込み
一つのデータにします



一つにしたデータをグラフ化
見事な半減期グラフが出来上がりました

三重大学伊賀研究拠点での実験&課題研究の成果 「水質から環境へのアプローチ」を 高校生フォーラムでプレゼン!

上野高校の理数科は MicSSH(三重県版スーパーサイエンスハイスクール事業)に参加しています。10月28日(日)、三重県総合文化センターで開催された高校生フォーラムで、理数科1年生の3人が成果発表をしました。



～リン酸態リン～

雨水	13.51($\mu\text{g/L}$)
伊賀市水道水	25.68
天然水	35.14
比呂岐川	54.06
久美川	29.01
栢瀬川	60.00
往古川	441.89

